

「日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)」は、河川再生に関わる事例・経験・活動・人材等を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい水辺再生の技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目的に2006年11月に設立されました。また、日中韓を中心に活動する「アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)」の日本窓口として、日本の優れた知見をアジアに向け発信し、同時にアジアの素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割を担います。

目次	Pages
➤ JRRN 活動報告.....	1
➤ 会員寄稿記事.....	3
➤ JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ.....	4
➤ 会議・イベント案内.....	5
➤ 冊子・ビデオ等の紹介.....	5
➤ 会員募集中.....	6

巻頭書記

JRRN ニュースレターの最新号をお届けします。

本号では、JRRN 会員撮影による桜の水辺写真を取りまとめた写真集発行のご案内、また JRRN 事務局によるアジア途上国の地方政府職員研修（世界銀行等主催）の支援報告をご紹介します。また「水辺からのメッセージ No.26」として横浜市和泉川、また国内外関係者よりご提供頂きました河川再生に関わる情報を掲

載しています。

いよいよ本格的な夏を迎えますが、身近な水辺で納涼感を味わいながら、節電に協力して真夏の猛暑を克服していければと思います。

引き続き、会員皆様のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

JRRN 活動報告(1)

『桜のある水辺風景 2011』が完成しました

水辺の美しさや人々との関わりについて考えるきっかけづくりを目指して、2011年に撮影された「桜のある水辺写真」を募集し、計30点の素敵なお写真をご応募頂きました。

ご応募頂いた写真とコメントは「『桜のある水辺風景 2011』写真集」としてとりまとめられ、以下の JRRN ウェブサイトにてご覧頂けます。

□URL : <http://www.a-rr.net/jp/info/letter/publication/2774.html>

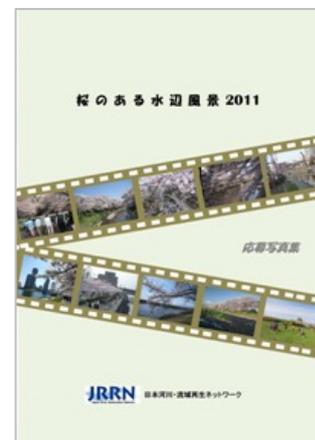
「桜は日本の心」といわれています。この度ご提供いただいた写真の多くは、桜の咲く水辺とそこに集う人々が撮影され、その言葉を映しています。

桜がある水辺に人が集うのか、人の集う水辺に桜が植樹されたのか、理由はそれぞれの水辺にあります。

JRRN では今後も、後者の理由に関わる「人の集う水辺」の創出に関わる情報提供、水辺の美しさや人々と

の関わりについて考えるきっかけづくりを目指した活動を展開していきます。

今後とも JRRN 会員の皆様からご支援をお願いいたします。



桜のある水辺風景2011写真集表紙

(JRRN 事務局 伊藤将文)

JRRN 活動報告(2)

世界銀行主催・地方政府リーダーシップ研修の支援報告

2011年5月30日（月）、世界銀行等が主催するアジア途上国の地方政府職員のスキル向上を目的とした研修行事が「都市部水辺の再開発」をテーマに開催され、JRRN事務局が日本における河川再生事例の講演を担いました。



テレビ会議の様子

- <研修名> 地方政府指導者育成研修（都市の水辺再開発コース）
- <主催団体> 世界銀行、シンガポール政府外務省、シンガポールLee Kuan Yew大学
- <研修方式> シンガポールを主会場としてアジアの9都市を結ぶテレビ会議方式（150分間）
- <研修参加国> 中国、インドネシア、ラオス、フィリピン、ベトナムの5カ国7都市

日本からの講演は、世界銀行東京事務所を会場にテレビ回線を通じて行われ、はじめに横浜市政策局共創推進室国際技術協力課より「横浜みなとみらい21(MM21)」事業の講演、続いてJRRN事務局より北九州市を流れる紫川の再生事例、また東京都を流れる隅田川の再生事例について、再生前後の様子や再生に至る経緯等について説明を行いました。

各講演資料（英語版）は以下のJRRNホームページよりご覧頂けます。

<http://www.a-rr.net/jp/info/letter/activity/2731.html>



※「横浜みなとみらい21プロジェクト」講演資料は横浜市政策局共創推進室国際技術協力課よりご提供頂きました。

(JRRN 事務局 和田彰)

JRRN 活動報告(3)

ARRN 情報委員・伊藤一正氏が韓国水資源学会(KWRA)より「学会賞」を授与されました

「アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)」情報委員会の日本代表を務める伊藤一正委員（株式会社建設技術研究所）が、5月に韓国・大邱広域市で開催された韓国水資源学会（Korea Water Resource Association）年次総会において、KWRA 学会賞を授与されました。

本賞は、日韓両国の水文・水資源分野の学术交流に対する貢献と功労を称えられたもので、KWRA 会長を務める Hyoseop Woo 博士（前 KRRN 事務局長）より授与されました。



KWRA会長より学会賞の授与

KWRA: <http://www.kwra.or.kr/english.html>

(JRRN 事務局 伊藤将文)

水辺からのメッセージ No.26

国土文化研究所 特任研究員 岡村幸二 (JRRN 会員)

緑あふれる遊水地



撮影：2011年6月（神奈川県横浜市瀬谷区宮沢遊水地）

◆都市水害から地域を守る遊水地、生物多様性と地域文化に貢献する場に

横浜市和泉川の沿川には里山林や古くからの里山集落が残されており、平常時は市民の憩いの場として散歩や釣り場となっています。この“野の小道”を歩いていると、人工的な公園施設では味わえない野性味を感じることができます。

※国土文化研究所は、株式会社建設技術研究所のシンクタンク組織です。

■ JRRN 会員皆様からの寄稿記事を募集しています！

旅先で見かけた水辺の風景や思い、水辺再生に関わる様々な活動報告、また河川環境再生に役立つ技術等、JRRN 団体・個人会員皆様からの寄稿記事をお待ちしています。(JRRN 事務局)

JRRN 会員・ARRN 関係者からのお知らせ(2011年6月提供分)

【JRRN 会員からの提供情報】

■『プロジェクトWET エducator養成講座 in 浜名湖』

【行事名】プロジェクトWET エducator養成講座 in 浜名湖

【主催】PW しずおかネットワーク

【日時】2011年9月10日～11日

【場所】静岡県立三ヶ日青少年の家

【詳細 URL】

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/event/2743.html>



【JRRN 会員からの提供情報】

■『清流ぎふ水環境シンポジウム』

【行事名】清流ぎふ水環境シンポジウム

【主催】岐阜県

【日時】2011年7月27日～28日

【場所】じゅうろくプラザ（岐阜市）

【詳細 URL】

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/event/2768.html>



【JRRN 会員からの提供情報】

■「河川文化を語る会」

JRRN 団体会員である公益社団法人日本河川協会からの「河川文化を語る会」案内です。

【第 158 回】

◆テーマ：「今迫りくる大水害の危機」

◆講師：土屋信行氏（財団法人 江戸川区環境促進事業団 理事/前 江戸川区土木部長）

◆日時：2011年7月11日（月） 18:00～20:00

◆場所：厚生会館（全国土木建築健保）

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/event/2689.html>

【第 154 回】

□震災の影響により延期していた行事です

◆テーマ：「両河の賜物～ユーフラテス河とティグリス河が育んだ古代メソポタミア文明」

◆講師：小林登志子氏（NHK学園 古代オリエント史講座 講師）

◆日時：2011年8月9日（火）18:00～20:00

◆場所：厚生会館（全国土木建築健保）

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/event/2487.html>

【海外からの提供情報】

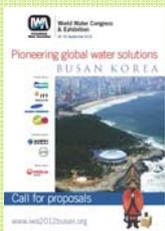
■ World Water Congress & Exhibition 2012 (2012.9 韓国・釜山)

IWA (International Water Association)

主催の「World Water Congress & Exhibition 2012」のご案内を頂きました。

※詳細は以下参照

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/news/2741.html>



【海外からの提供情報】

■第 9 回生態水工学国際シンポジウム (ISE2012) (2012.9 オーストリア)

「第 9 回生態水工学国際シンポジウム (ISE2012)」のご案内を現地事務局より頂きました。

※詳細は以下参照

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/news/2766.html>



【海外からの提供情報】

■RRC 主催「第 12 回年次講演会」論文概要集

RRC の年次講演会が 4 月 14 日に開催され、論文概要集や当日の講演資料一式が公開されました。

※詳細は以下参照

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/news/2767.html>



【海外からの情報提供】

■「豪国 CRFWG (クック川水辺活動団体) 年次報告」案内

オーストラリア・クック川 (Cooks River) で活動する CRFWG (クック川水辺活動団体) より、最新の年次報告発行のご案内を頂きました。

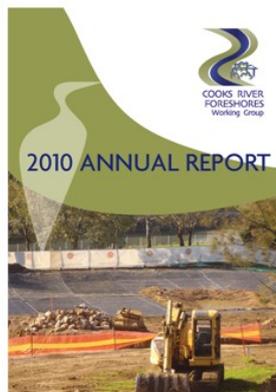
シドニー郊外の都市河川における、行政機関と市民団体の調整組織の具体活動内容を理解する上で非常に参考となる報告書です。

◆詳細は以下参照

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/news/2742.html>

◆クック川の詳しい記事はこちら

http://www.a-rr.net/jp/info/letter/docs/Newsletter-vol45_201103.pdf



【海外からの情報提供】

■「2011 年国際河川賞の最終候補河川発表」案内



河川再生に関わる名誉ある賞として世界的に認められている「国際河川賞 (International Riverprize)」の今年の選定候補 3 河川が決定し、その概要が紹介されました。本年 9 月下旬に開催される「第 14 回 International Riversymposium」で各河川の最終発表が行われ、1 河川が 2011 年の国際河川賞に選ばれます。

◆詳細は以下参照

<http://www.a-rr.net/jp/exchange/news/2778.html>

会議・イベント案内（2011年7月以降）

（ARRN・JRRN 主催・共催の会議・イベント）

■ARRN「第8回水辺・流域再生に関わる国際フォーラム」は2011年11月11日（金）開催予定！

本年度で8回目を迎えるARRN国際フォーラムは、2011年11月11日（金）に開催を予定しております。プログラム概要が決まり次第、皆様にお知らせします。

○開催日： 2011年11月11日（金） 予定

○開催場所： 東京

○テーマ：都市近郊の河川再生（Urban river restoration coexisted with environment, ecology and people）（案）

なお、本年の国際フォーラムは、河川整備基金の助成を受けて開催します。

※過去の開催報告はこちらから→ <http://www.a-rr.net/jp/info/letter/eventreport/2326.html>

（その他の河川再生・河川環境に関する主なイベント）

■第158回 河川文化を語る会

○日時：2011年7月11日（月）18:00～20:00

○主催：公益社団法人日本河川協会

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2690.html>

■第154回 河川文化を語る会

○日時：2011年8月9日（火）18:00～20:00

○主催：公益社団法人日本河川協会

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2486.html>

■2011年度河川技術に関するシンポジウム

○日時：2011年7月23日（土）～24日（日）

○主催：（社）土木学会

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2649.html>

■プロジェクトWETエデュケーター養成講座 in 浜名湖

○日時：2011年9月10日（土）～11日（日）

○主催：PWしずおかネットワーク

<http://www.a-rr.net/jp/event/02/2744.html>

■東京の川を考えるシンポジウム2011

○日時：2011年7月27日（水）16:00-18:00

○主催：東京都建設局

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2748.html>

■エコリージョンを考える～生物多様性と地域の歴史と伝統に基づく流域管理

○日時：2011年9月17日（土）13:00～17:00

○主催：応用生態工学会

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2736.html>

■清流ぎふ水環境シンポジウム

○日時：2011年7月27日（水）～28日（木）

○主催：岐阜県

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2769.html>

■2011年度川に学ぶ体験活動全国大会 in 鶴見川流域

○日時：2011年9月17日（土）～19日（月）

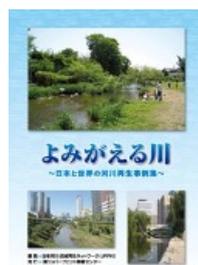
○主催：川に学ぶ体験活動全国大会 in 鶴見川流域実行委員会

<http://www.a-rr.net/jp/event/03/2574.html>

冊子・ビデオ等の紹介

■よみがえる川～日本と世界の河川再生事例集～（2011.4 発刊）

- ・編集：日本河川・流域再生ネットワーク（JRRN）
- ・発行：（財）リバーフロント整備センター
- ・価格：無料



※本冊子の入手方法

本事例集をご希望の方は、JRRN事務局までご連絡ください。なお、JRRN 会員限定サービスとさせていただきます、送料のみご負担頂いた上で、無料で提供致します。非会員の方は、JRRN 会員登録後にお申込下さい。

info@a-rr.net / 電話：03-6228-3862

■運河と閘門 水の道を支えたテクノロジー（2011.3 発刊）

- ・編・著者：久保田稔、竹村公太郎、三浦裕二、江上和也
- ・発行：日刊建設工業新聞社
- ・価格：無料



本書は、運河・閘門の基礎知識を紹介するとともに、北海道から九州まで日本全国の閘門を詳しく紹介する内容です。

本冊子をご希望される方は、「（財）リバーフロント整備センター企画グループ」までご連絡ください。送料のみご負担いただいた上で、無料で提供致します。 電話：03-6228-3862

会員募集中

■ JRRN の登録資格（団体・個人）

JRRN への登録は、団体・個人を問わず**無料**です。
市民団体、行政機関、民間企業、研究者、個人等、所属団体や機関を問わず、河川環境の整備・改善に携わるすべての方々のご参加を歓迎いたします。

■ 会員の特典

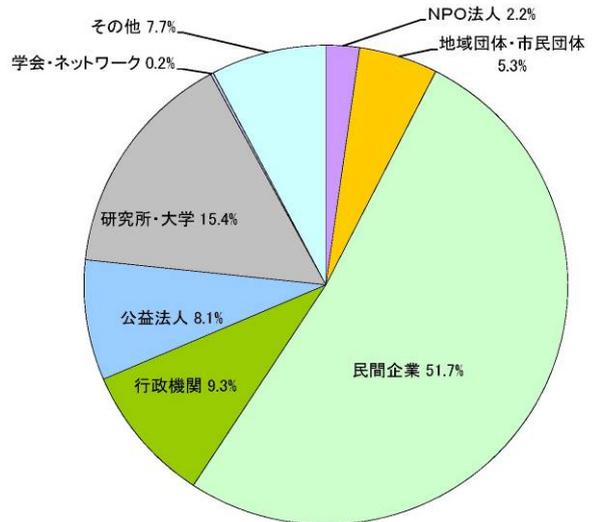
会員登録をされた方々へ、様々な「会員の特典」をご用意しています。

- (1) 国内外の河川環境に関するニュースを集約した「JRRN ニュースメール」が週に1回～2回メール配信されます。
- (2) 国内外のセミナー、ワークショップ等の開催情報が入手できます。また JRRN 主催行事に優先的に参加することが出来ます。
- (3) 必要に応じた国内外の河川再生事例等の情報収集の支援を受けられます。
- (4) JRRN を通じて、河川再生に関する技術情報やイベント開催案内等を国内外に発信できます。
- (5) 韓国、中国をはじめとする、ARRN 加盟国内の河川再生関連ネットワークと人的交流の橋渡しの支援を受けられます。

■ 会員登録方法

詳細はホームページをご覧ください。

<http://www.a-rr.net/jp/info/member.html>



2011年6月28日時点の個人会員構成

(個人会員数：500名、団体会員数：37団体)

JRRN 会員特典一覧表(団体会員・個人会員)

JRRNが提供するサービス		JRRN 団体会員	JRRN 個人会員	非会員 (一般の方)
1	ホームページへのアクセス及び各記事へのコメント入力 ^{※1}	◎	◎	◎
2	ホームページ「イベント情報」欄でのイベント掲載 ^{※2}	◎	◎	◎
3	ニュースメール(週2回)の配信 ^{※3}	◎	◎	×
4	Newsletter(毎月)及び年次報告書(年1回)等の発刊案内メールの配信 ^{※3}	◎	◎	×
5	JRRN/ARRN主催行事の優先案内・優先参加 ^{※4}	◎	◎	×
6	国内外の河川再生関連情報・技術収集や専門家・組織紹介の支援 ^{※5}	◎	◎	×
7	ホームページ「最近の話題・ニュース」及びニュースメール「会員提供情報」欄で団体が関わる行事や出版、技術や製品等の案内の掲載 ^{※6}	◎	△ ^{※7}	×
8	ホームページ「会員登録」「人・組織のつながり」欄及び年次報告書内で団体名の掲載	◎	×	×
9	ARRN活動に関連する英語ニュース(ARRN Newsletter等)の不定期配信 ^{※8}	◎	×	×
10	JRRN及びARRNが保有する国内外専門家・団体等との連携等の支援 ^{※9}	◎	×	×

【発行・問合せ先】



日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN) 事務局

財団法人リバーフロント整備センター 内

〒104-0033 東京都中央区新川1丁目17番24号 新川中央ビル7階

Tel:03-6228-3862 Fax:03-3523-0640 E-mail: info@a-rr.net URL: <http://www.a-rr.net/jp/>

JRRN は、「アジア河川・流域再生ネットワーク構築と活用に関する共同研究」の一環として、(財)リバーフロント整備センターと(株)建設技術研究所国土文化研究所が公益を目的に運営を担っています。

